

【開催直前】取材のご案内

「日経メッセ 街づくり・店づくり総合展」

店や街へにぎわいをもたらす注目展示をご紹介します

2022年3月1日（火）～4日（金）東京ビッグサイト

オンライン展示会も同時開催！2月15日（火）から3月11日（金）

日本経済新聞社は、ニューノーマル時代の街や店をつくるための技術・製品・システムが集まる「日経メッセ 街づくり・店づくり総合展」（「JAPAN SHOP」「建築・建材展」「リテールテック JAPAN」「SECURITY SHOW」「フランチャイズ・ショー」の5展示会および特別展示で構成）を2022年3月1日（火）～4日（金）の4日間、東京ビッグサイト東・西展示棟で開催します（フランチャイズ・ショーは3月2日からの3日間）。

日経メッセの全体開催規模は2022年2月21日現在、817社・団体2204小間（リアル展、オンライン展合計）です。コロナ禍により大きな影響を受けた店と街に、にぎわいを取り戻すための様々な製品・ソリューションが大規模に展示されます。新たな顧客体験を創出する流通DX、空間デザイン、抗ウイルス建材、セキュリティ、フランチャイズ加盟募集などの最新情報が集結します。小売・流通・建築・デザイン・情報・通信・飲食店関係者などのビジネス・ユーザーの来場を見込む、日本有数の産業展示会です。

また、昨年に続き開催する「日経メッセ Online」では、時間や場所を問わないオンライン上でのビジネス・コミュニケーションの場を提供し、ニューノーマル時代の新しい情報交流とビジネスチャンスの拡大を促進します。

下記概要にて開催いたしますので、ご多忙かとは存じますが是非ともご取材いただけますようお願いいたします。

<「日経メッセ 街づくり・店づくり総合展」開催概要>

- 日 時／2022年3月1日（火）～4日（金）10：00～17：00
（最終日のみ16：30まで）※フランチャイズショーのみ3月2日（水）～4日（金）
- 会 場／東京国際展示場 東京ビッグサイト（〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1）
- 申込方法／ご取材日の2日前までに申込フォーム、または10枚目の取材申込書に必要事項をご記入の上、広報事務局のEmailかFAXにてお申し込みください。

取材申込フォーム <https://tayori.com/f/nikkeimesse2022/>

※日経メッセは（一社）日本展示会協会の「展示会業界におけるCOVID-19感染予防拡大ガイドライン」や東京ビッグサイトが定める「展示会等における新型コロナウイルス感染防止のための対応指針」に基づいた新型コロナウイルス感染症対策を講じ、ご来場者の安全を確保して開催します。今後の感染状況や、政府・自治体の方針や対応を注視し、開催内容に変更が発生した際にはあらためてお知らせいたします。

【本展に関する取材・記事・報道のお問い合わせ】

「日経メッセ 街づくり・店づくり総合展」広報事務局（共同PR内） 担当：矢川・杉浦・安田・藤本
TEL：03-6264-2059 / FAX：0120-653-545 Email：nikkeimesse2022-pr@kyodo-pr.co.jp
<会期中の連絡先> 080-8072-4384（矢川）080-9508-9919（杉浦）



NIKKEI MESSE

街づくり・店づくり総合展

第51回 店舗総合展

JAPAN SHOP 2022

建築・建材展2022

第3回 流通・デジタル展

リテールテック JAPAN 2022

第30回 セキュリティ・安全管理総合展

SECURITY SHOW 2022

第39回

フランチャイズ・ショー2022

◆今回のポイント◆

**出展者 800 社超が提案する豊富なアイデアとソリューション
ビジネスと暮らしを支え、社会的課題を解決する製品・サービスをまとめて俯瞰**

各業界で進む DX 革命を一望 グリーンデザインなど最新のトレンドも紹介

流通・小売業界をはじめ各業界で進む DX 革命。キャッシュレス化や無人店舗、物流 IoT からロボットや IT 機器の活用などまで、デジタル技術の発展は、生活空間や労働環境のさらなる改善や、人手不足の解消、労働負担の軽減など、各業界の抱える課題の解消に大きく貢献しています。

今回の「日経メッセ」では、各業界のニーズに応える最新のテクノロジーを活用した製品やサービスが集結、各業界で進む DX 革命の現状を一望できるほか、街や店舗で求められている自然との共生を目指すグリーンデザインや日本古来の美意識や素材に根差した新たな空間価値の提案など、最新トレンドを反映した製品やサービスなども併せてご紹介します。

With コロナ時代に対応した、清潔でキレイな空間づくりへ

ニューノーマルに対応したオフィスや商業施設などに求められるディスプレイ、次世代 LED 照明、インテリア、設備など、より清潔で安全、快適な空間づくりにつながる未来志向の製品・部材が勢揃いします。さらに働き方の変化に伴い、快適なリモートワーク空間を提供する製品なども併せてご紹介します

「安全・安心」を実現する最新のセキュリティソリューション

ますます高まる「安心・安全」を求める社会のニーズに応え、感染症対策から防災、防犯、サイバーセキュリティまで、予期せぬ災害や犯罪への対策につながる IP カメラや防犯カメラ、情報セキュリティ、警備システムや防犯カメラなどの最新のセキュリティソリューションのほか、抗菌・抗ウイルス仕様の高性能な製品・建材を数多く展示し、ご紹介します。

<過去の様子>



JAPAN SHOP 2022

「JAPAN SHOP」(第51回)

会場：東4・5ホール

主催：日本経済新聞社

規模：出展社数 167 社、出展小間数 485 小間 (リアル・オンライン展合計、2月21日現在)

内容：最新の空間デザイン・ディスプレイ、インテリア製品、素材、店舗什器・設備、空間演出機器・システムなど魅力的な空間づくりのための効果的な製品・ソリューションが一堂に集結。

【特別展示「JAPAN SHOP + Plus」】

ニューノーマル対応のグリーン空間のためのソリューションや、街や店におけるインテリアとエクステリアでの人とグリーンとの共生がもたらす安らぐグリーンデザインや緑化製品などを紹介。人々の変化する環境に対応する美しく、安心できる空間づくりを提案。

【特別展示「NIPPON プレミアムデザイン」】

伝統的なものづくりの技術とデザインの高さに加えてサステナブルな視点でも活用が期待されている日本古来の美意識や自然から生み出された上質な素材。インテリア素材や空間素材として、空間の価値を高めるデザインや素材を紹介。

【特別企画展「グッドスリープ〜快適睡眠展/ヒカリと感染症対策展」】

良質な睡眠を通じた健康促進やパフォーマンス向上、殺菌・除菌など光を利用した感染症対策を紹介。

URL: <https://messe.nikkei.co.jp/js/>

◆注目の出展◆

アズシス

没入型空間共有プロジェクションマッピングシステム

「お部屋マッパー」



VRゴーグルなしで、複数人同時に空間を共有できるマッピングシステム。1台のプロジェクターで360度/VR映像を投影が可能のため、スペースの限られた店舗の空間演出や、プレゼンなど、様々な用途で没入感を楽しめる。

アイリスオーヤマ

配膳・運搬ロボット「Keenbot」

2月に発売された配膳・運搬ロボット「Keenbot」は40kgの大容量運搬や簡単なタッチパネル操作などが特長で、レストランやホテル、ゴルフ場など広範囲の場所で稼働。店舗DXを実現する省力化、非接触に対応する。



STUDIO ROW

MUSUBI 2

組紐の老舗「龍工房」の伝統工芸技術と真鍮や特注のフロストガラスなど新しい素材やデザインを組み合わせることにより「結び」をイメージした幽玄な光の世界を実現。



NIPPON プレミアム デザイン

日本無機

室内型薄型空気清浄機 ヘパウォール

換気がしにくい商業施設や店舗、レストラン向けにインテリアになじむブラックの薄型空気清浄機が発売。可動式で薄型なので壁面やパーテーションがわりに設置も可能。



JAPAN SHOP + Plus

第28回 建築・建材展2022

「建築・建材展」(第28回)

会場：東5・6ホール

主催：日本経済新聞社

規模：出展社数 192 社、出展小間数 411 小間 (リアル・オンライン展合計、2月21日現在)

内容：抗菌・抗ウイルスの建材など住宅・ビル、各種施設向けの最新の高性能建材や設備機器をはじめ、設計や工法、施工管理・3Dなどのソフトウェア、関連サービスに関する建築総合展。リフォーム・リノベーション、防災のための部材・設備や、木材・木質化提案、生産性向上・省力化のためのAIやIoTを活用したシステム・機器などを幅広く紹介。「一般建材・関連製品ゾーン」「建築現場・省力化ゾーン」など6つのゾーンに分けて紹介。

URL: <https://messe.nikkei.co.jp/ac/>

◆注目の出展◆

富士通ゼネラル

Comodo gear(コモドギア)



「Comodo gear(コモドギア)」は厳しい環境下での作業を楽にするウェアラブルエアコン。

サーモ・モジュールを内蔵し、首に装着することで頸動脈を通る血液を効率的に冷却したり、加熱したりすることができる。2021年に第二弾の「Comodo gear i2」をリリースし、国内企業に向けたレンタルの提供を開始。現在までに200社以上に採用されている。

アバン設計

BOSHIN (ボウシン)



「構造材に負担をかけずに粘り強く揺れに抵抗し、形状を復元する」。そうしたコンセプトのもとに開発された制震装置。地震の水平力をR成形された板ばねで柱軸方向へ受け流し、3枚のばねで吸収、さらに跳ね返りを制御することで減衰効果を高めた。また、円をなすように配置することで円の形状記憶の特性を活用し強さに復元するという。

「リテールテック JAPAN」(第 38 回)

会 場：東 1 ～ 3 ホール

主 催：日本経済新聞社

規 模：出展社数 203 社、出展小間数 730 小間 (リアル・オンライン展合計、2 月 21 日現在)

内 容：人手不足やオンラインなど購買活動の変化、感染症対策などの様々な課題の解決に向け、流通・小売業界で進む「流通 DX」。オンライン展示も含め 190 社以上の国内外の流通 DX を提供する有力企業が集結し、最新の流通・小売業界向けソリューションと自動化技術を紹介。

URL: <https://messe.nikkei.co.jp/rt/>

◆注目の出展◆

東芝テック

サブスクリプションモデルのグローバルリテールプラットフォーム「ELERA」

ELERA

「ELERA」上には、多種多様なマイクロサービスを構築するとともに、購買に伴う膨大なデータを集約。店内、店外、バックヤード、そしてサイバーとフィジカルをつなぐさまざまなサービス群をラインナップし、店舗ごとの課題に即したあらゆるソリューションの提供を実現し、高付加価値のデータを利活用しながら小売業のデジタルトランスフォーメーション (DX) の推進を強力にサポートする。

NEC グループ

画面に触れずに操作できるセルフレジ

画面に直接触れずにセルフレジを操作できるため、お客様に安心してお買い物いただけます。専用オプションなどで導入もかんたん、また、タッチレス操作対応のTWINPOSシリーズに後付けも可能です。タッチレスでも、軽快でわかりやすい操作を実現しています。会場では、お客様にタッチレスの操作性を体感いただけます。



ソフトバンク

飲食店向け自動送客ソリューション



ソフトバンク、LINE、エビソルの 3 社連携による飲食店向け自動送客ソリューションのデモ展示を行う。AI 画像解析技術を活用したリアルタイムな空席検出から各種集客メディアとのデータ連携、電話予約受付までの一連のプロセスを自動化。コロナ禍における飲食店の売上増・省人化に寄与すべく、社会実装を目指す。

「SECURITY SHOW」(第30回)

会場：東3ホール

主催：日本経済新聞社

規模：出展社数 78 社、出展小間数 158 小間 (リアル・オンライン展合計、2月21日現在)

内容：社会やビジネスの「安全・安心」を実現する製品・サービスが一堂に会するセキュリティ総合展。最新の IP カメラや防犯カメラ、情報セキュリティ、感染症対策、災害対策まで、最新のセキュリティソリューションが集結。会場内の特設ステージでは、鉄道車内のセキュリティ対策や、AI カメラの最新導入事例など、実務に役立つセキュリティの技術動向をご紹介します。

URL: <https://messe.nikkei.co.jp/ss/>

◆注目の出展◆

クマヒラ

木材と融合した表情豊かなセキュリティゲート



セキュリティゲートのフラッグシップモデルである「ユニゲート」のウッドタイプを参考出展製品として展示します。天板部分に木材を使用することで優しさやあたたかさを演出し、木材で形成されている建築空間に調和します。開催期間中のみの限定展示となりますので、ぜひ会場でご覧ください。

太陽誘電

小型・軽量・低コストな水害監視ソリューション



世界で初めて CD-R を開発した太陽誘電は、その光学技術を応用し、水面の反射電波を正確に捉えて水位を計測できる『水害監視システムソリューション』を開発。河川の堤防決壊などが引き起こす洪水や内水氾濫の被害を最小限に抑え、住民の生命と財産を守るためのソリューションを提案する。

第39回 フランチャイズ・ショー2022

「フランチャイズ・ショー」(第39回)

会場：西3・4ホール
主催：日本経済新聞社
規模：出展社数 177 社、出展小間数 420 小間 (リアル・オンライン展合計、2月21日現在)
内容：フランチャイズ (FC) 本部による加盟店舗募集をはじめ、ビジネスパートナー募集、店舗支援ビジネス (各種機器やサービス)、店舗開発、独立・開業・新規ビジネスなどの情報を介する日本最大級の FC 展示会。

展示規模拡大 (前回 (2021年3月) 比較で、25社、92ブース増)

コロナ禍で多様化するソロ活市場に対応したフランチャイズビジネスを紹介。

飲食業：キッチンカーをはじめ、客席を持たないクラウドキッチンや、テイクアウト専門店など、

サービス業：完全個室型ジムや AI トレーニング、1対1の相席ラウンジ、セルフエステ、個室対応型デイサービス、ボイストレーニング、シェアラウンジ、個別指導塾など

カーブス社長や、フランチャイズ業界の人気ブロガーがセミナーに初登場

会場内セミナーではカーブス社長や 120 店舗以上経営するメガフランチャイジーなど多彩な顔触れが登場。

特別企画【店舗 DX・支援ビジネス展】

ニューノーマル時代に対応した従業員の e ラーニングや移転撤退工事のコスト削減提案、人材マッチングサービスなど、店舗向けの支援ビジネスを展示。

URL: <https://messe.nikkei.co.jp/fc/>

◆注目の出展◆

コロケエンターテイメントフーズ

コロケのころっ家



FTC

質屋かんてい局



東京初展開！コロケさんも会場にやってきます！！

ものまねタレント「コロケ」氏プロデュースのコロケ専門店。店舗型(路面店・商業施設店)、キッチンカー、ブランドシェア(既存店併設型)の3つの加盟プランから、ご自身に合ったスタイルを選んで開業できる自由度の高いFC事業。

コロナ禍でも好調なテイクアウトやゴーストレストラン・クラウドキッチンは、無人餃子、ホットサンド、鰻、干物、焼き芋、SDGsにも貢献の代替ミートカレー、から揚げ、スイーツ、ピザ、ファストフード、ラーメン、そば、タピオカ、スムージーなど多数出展しています

昨年0から→今年は6社出展！リユース・質屋・買取業

コロナ禍の断捨離や生前整理、SDGsでのリユースなど。

蔓延等防止措置などの「巣ごもり需要」により、在宅時間が増え片付けが進み「不要なものを売って現金化したい」というニーズが高まっています。また、金取引が活発化していることも後押しになり、今年はリユース・質屋・買取業のフランチャイズが6社も出展します。昔ながらの質屋ではなく、買取スキルをDX化したり、AI真贋鑑定システムを取り入れるなど、未経験でも加盟できる仕組みを展示します。(その他、大吉、BRAND OFF、大黒屋、ハードオフ、ベストライフが出展)

◆「日経メッセ 街づくり・店づくり総合展」開催概要◆

名称：日経メッセ 街づくり・店づくり総合展

構成展示会：＜東展示棟＞「JAPAN SHOP」「建築・建材展」「リテールテック JAPAN」
「SECURITY SHOW」

＜西展示棟＞「フランチャイズ・ショー」

主催：日本経済新聞社

会期：2022年3月1日（火）～4日（金）10：00～17：00（最終日のみ16：30まで）

※ フランチャイズ・ショーのみ3月2日（水）～4日（金）開催

会場：東京ビックサイト 東・西展示棟

開催規模：817社・団体、2204小間（リアル・オンライン展合計、2月21日現在）

入場料：3,000円（税込み）

※フランチャイズ・ショーは入場無料

※ウェブサイト（<https://messe.nikkei.co.jp/>）の来場事前登録で無料（3月4日まで受付）

来場者数：JAPAN SHOP／建築・建材展 70,000人

（見込み）リテールテック JAPAN／SECURITY SHOW 80,000人

フランチャイズ・ショー 25,000人

お問い合わせ：ハローダイヤル 050-5541-8600（3月11日まで）

■日経メッセ 街づくり・店づくり総合展 オンライン展示会について

◆オンライン展示会のポイント◆

「日経メッセ Online」は日本経済新聞社が独自に開発した新しいオンライン展示会プラットフォームである「NIKKEI NEON」上で開催します。

シンプルで分かりやすい直感的なデザインを採用、出展者は製品の情報や動画、パンフレットなどさまざまな情報を掲載できるほか、来場者との「名刺交換」機能やオンラインチャット、セミナーのライブ配信などのコミュニケーション機能も搭載しています。

今回、5つの展示会（「JAPAN SHOP」「建築・建材展」「リテールテック JAPAN」「SECURITY SHOW」「フランチャイズ・ショー」）をオンライン上でも展開し、リアル展示会にオンラインを融合させた新しいスタイルでビジネスのシナジー効果を高めます。



<日経メッセ Online TOP ページ>



<セミナー紹介ページ>

※画像はイメージです。実際のものとは異なる場合があります。

◆「日経メッセ Online」開催概要◆

名称：日経メッセ Online

主催：日本経済新聞社ほか

会期：2022年2月15日（火）～3月11日（金）

出展者数：98社・団体（2月21日現在）

URL: <https://messeonline.nikkei.co.jp>

【本展に関する取材・記事・報道のお問い合わせ】

「日経メッセ 街づくり・店づくり総合展」広報事務局（共同PR内） 担当：矢川・杉浦・安田・藤本
TEL：03-6264-2059 / FAX：0120-653-545 Email：nikkeimesse2022-pr@kyodo-pr.co.jp
<会期中の連絡先> 080-8072-4384（矢川）080-9508-9919（杉浦）